



# 株式会社 小栗 SDGs宣言

当社は、「地域密着型で地域(地元顧客)とのつながりを大切にする。

・お客様のご要望を最優先に、高品質で長持ちする畳を当社独自の製法技術で作る。」

という方針のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、

地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年11月11日

株式会社 小栗

代表取締役 小栗 学



## 重点項目(ターゲット2030)

### 安心で豊かな暮らしの提供

空気の浄化作用や香りによるリラックス効果など様々な機能を持つ畳の製造を通じて、皆さまに安心で豊かな暮らしを提供します。これからも日本の畳文化を次世代につないでいきます。

#### 【主な取り組み】

独自の製法技術による高品質で長持ちする畳の製造、アフターメンテナンスの充実、イグサの自社生産への取り組み



### 環境への取り組み

畳のメンテナンスをはじめ、製造時に生じる端材やこれまで廃棄されてきた使用後畳の有効活用により、廃棄物削減に取り組みます。また、原材料のイグサ生産を通じて環境に貢献していきます。

#### 【主な取り組み】

畳のメンテナンス促進、端材の活用、使用後畳の利用方法の検討、省エネ設備の導入(空調機器など)、イグサの自社生産への取り組み



### 職場環境の整備

職場の労働安全衛生に配慮し、従業員一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる職場環境の整備に努めます。これまでに培ってきた技術・技能の伝承に取り組み、次世代を担う職人を育成します。

#### 【主な取り組み】

現場の実情の把握、職場の安全状況への配慮、労働時間の適切な管理、ベテラン職人による後継者の育成



### 地域社会への貢献

地域に密着した企業として、地域とのつながりを大切にし、イグサの生産復活に向けた取り組みなど地域活性化に取り組み、地域社会の持続的な発展に貢献します。

#### 【主な取り組み】

イグサを中心とした取り組み(地産地消・産地復活に向けた情報発信)、地元農家との対話、地域活動への積極参加



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。